

Agdia イムノストリップ/イムノコンボ キット 取扱説明書

製品情報

使用目的

イムノストリップキットは、植物から病原菌の存在を迅速にスクリーニングするためのキットです。イムノストリップキットには、特別な機器や技術は必要といたしません。結果は数分で得られるため、野外やグリーンハウスでのご使用に適しています。このイムノストリップでは、葉に対して SEB1 試料抽出バッファーを使用してください。これ以外の試料用バッファーは使用しないでください。

保存方法

試験紙とバッファーは必ず冷蔵保存(2-8℃程度)して下さい。試験紙は冷蔵保存の場合でも常に乾燥剤入りの容器に入れ、必ずしっかりと栓をして保管して下さい。検定を行なう際には、試験紙入りの容器と試料抽出用バッファーを 30~60 分前に冷蔵庫から取り出して室温に放置し、20℃以上に暖めてからご使用下さい。

制限事項

アイビーゼラニウムの試料は、CMV、TMV、TSWV 及び Xhp のイムノストリップでは、疑陽性となる可能性があります。

キット使用法

試料の準備 *試料のサイズに注意してください



試料は病徴を現している部分から採取します。試料バッグには、バッファーが 3mL 入っていますので試料量は 1/20 の約 0.15g 必要です。通常は、2.5cm 角の試料で十分ですが、厚さや密度で変わります。古いもの、乾燥したもの、量が多すぎたものなどでは、間違った結果を与える場合があります。

注意: 検定前には必ずよく手を洗い、ハサミなどの消毒を行なって下さい。また、異なる株の試料を次々に切り取る時は、試料ごとに刃物を消毒用アルコール等に漬けて消毒するか、消毒済みの別の刃物を使用して下さい。

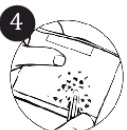


バッファーをこぼさないように注意しながら、メッシュ内張り試料バッグの上部(ラベルの上あたり)を点線に沿ってハサミで切り取って下さい。

*この試験では、必ず、SEB1 バッファーを使用してください。



採取した試料を、試料バッグの内張りメッシュの間にピンセットでバッファーに浸かるまで押し込んで下さい。



バッファーがこぼれないように注意しながら、バッグの外側から試料の薄片をペンの尻やすり潰し棒などでこすり付けて磨碎します。

試料の種類によりますが、バッファーが薄茶色または淡緑色に着色するまで抽出して下さい。試験紙を入れる前に、バッグを立てて 3 分間静置します。

キット内容(ISK)

- ・ イムノストリップまたはイムノコンボ
- ・ SEB1 バッファー入り試料抽出用バッグ
- ・ 取扱説明書

イムノストリップ/イムノコンボのみ(STX)を別個に購入された場合は、試料抽出用バッグは入っていません。

測定に必要なもの

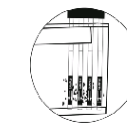
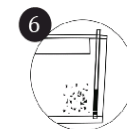
- ・ ハサミ、ナイフまたはかみそりの刃
- ・ SEB1 試料抽出用バッファー
- ・ 試料抽出用資材(Agdia 社の試料抽出用バッグをお勧めします)
- ・ サンプルバッグ立て(バッグの液がこぼれないように真っ直ぐ立てるためのハガキ立てのような物)

測定



試料抽出液の準備ができたなら、試験紙(イムノストリップ又はイムノコンボ)を容器から取り出し、容器は再度密閉します。この際、試験紙の上下(上は社名の Agdia の記載がある白い部分、下は SAMPLE の文字と矢印が書いてある緑色の部分)に注意し、必ず上部をつまみます。保護カバーは、取らないでください。イムノストリップ又はイムノコンボを、SAMPLE と表示してある下部から図⑤の通りに、試料バッグに入れ、白線まで抽出液に浸します。イムノストリップでは、右端のメッシュの外側に、イムノコンボでは、メッシュの上に入れると良いです。ストリップの側面に泡や気泡がつかないようにしてください。試料バッグを傾けると入れやすくなります。

注意: ストリップの先端が試料バッグ内の抽出液に 6mm 以上又は白線以上には浸漬しないでください。



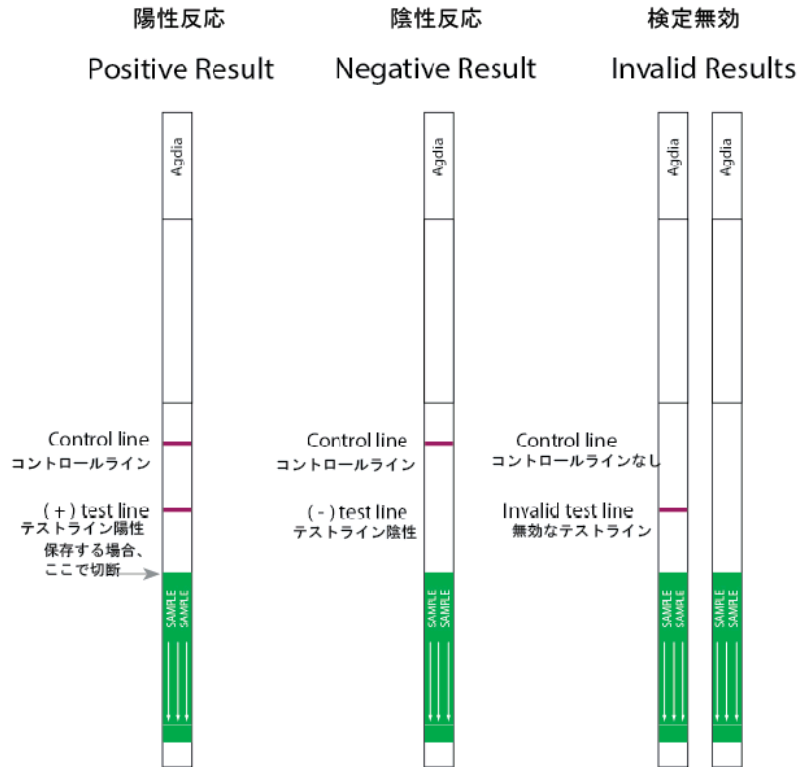
その状態で 30 分間静置してください。陽性の場合には 5 分ほどで線が見え始めます。ウイルスのタイターが低い試料では線が出るのに 30 分を要します。抽出液が吸い上がるのを待ちます。試料バッグは倒れないように、ホルダーなどに立てておきます。

7 結果の判定

試験紙を抽出液に浸漬すると、しばらくして、陽性反応では赤色または紫色の線が2本、陰性反応では1本現れます(下図参照)。2本の線が現れた場合、上方の線は対照線(コントロールライン)で、検定が正しく行われたことを示します。下方の線は陽性反応を表す線で、ウイルスが検出されたことを示します。上の線(対照線)が1本のみ現れた場合は、試料が陰性であったことを示します。

対照線は検定試験が正常に進行したことを示すもので、もし、下の線(陽性線)のみ現れた場合や、線が1本も現れない場合は、その検定は何らかの原因で無効ということになります。陽性反応は遅くとも30分以内に現れるので、ここで試験紙を抽出液から抜き取り、試験を終了とします。

反応の現れた試験紙を後日のために保存したい場合は、SAMPLE と書いてある緑色の部分をハサミで切り捨て、ペーパータオルなどの間に挟んで余分な水分を吸収したのち、乾いた状態で保存します。乾燥が不十分な場合や長期に保存する場合は、試験結果が変質することもありますので、写真撮影して保存されることをお勧めします。



安全性

イムノストリップ及び試料抽出用バッファーには、有害物質は含まれておりません。

トラブルシューティング

コントロールラインが出ない	・ほとんどの原因は、試験紙の先端部を 6mm 以上試料抽出用バッファーに浸漬することによるものです。過度に浸漬すると、試験紙に含まれている成分が試料抽出用バッファーに放出されて、バッファーの正常な吸収が阻害されることがあります。また、3分間静置せず、抽出直後に浸漬した場合も同様の現象を生じることがあります。再試験してください。
試験が遅い又は全くすすまない	・試料量が多すぎます。その抽出液を SEB1 バッファーで 10 倍希釈した液または、より少ない試料を抽出した液で再試験してください。 ・使用前にキットが室温になっていましたか。有効期限が切れていませんか。有効期限は箱に記載されております。箱に記載された有効期限(Use by:月/年)を過ぎた物は、正しい検定結果が出ない場合がありますので、ご使用はおやめ下さい。
緑色の線(または試料の色素による線)がでる	・試料量が多すぎます。その抽出液を SEB1 バッファーで 10 倍希釈した液または、より少ない試料を抽出した液で再試験してください。 ・まれには、組織の型により色素によって線が出る場合があります。緑色の線は陽性とする必要はありません。赤、オレンジ、紫色の果実は陽性のような線が出る場合があります。それらの試料を試験する場合は、事前にアズマックス㈱にご相談ください。
コントロールラインまたはテストラインが薄い	・有効期限が切れているかもしれません。有効期限は箱に記載されておりますのでご確認ください。箱に記載された有効期限(Use by:月/年)を過ぎた物は、正しい検定結果が出ない場合がありますので、ご使用はおやめ下さい。 ・試験紙が湿っている。試験紙が入った容器を長時間、開けっ放しにしていると、試験紙が湿って結果に悪影響を及ぼすことがあります。ご使用のたびに試験紙容器をしっかりと閉まっているかご確認ください。 ・また病原体のタイターが低いとテストラインが薄くなる場合があります。

使用上の注意

- ・本品を目や口に入れないで下さい。また、誤飲を防ぐため、幼児の手の届かない場所で保存してください。
- ・本品の有効期限内に、当社の製造物流保管作業等の不具合により製品に欠陥が生じた場合は、新しい商品とお取替えいたします。
- ・検定結果の判断と運用は、すべてお客様ご自身の責任で行なって下さい。本品の使用によるすべての直接的および間接的な結果としての経済的損失 や財産などあらゆる損害に対し、一切補償するものではありません。
- ・本品を廃棄する際には、衛生面、環境面に配慮し、焼却処分等を行なって下さい。

製造元:Agdia, Inc.(USA)

輸入元:エア・ブラウン株式会社

販売元:アズマックス株式会社

東京営業所:〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 5F

TEL:03-6661-1090 FAX:03-6661-1091 E-mail:sales@azmax.co.jp